

「語るより感じる」小平を拠点に 全国へ笑顔を届ける魂の肉体表現者

こだいらサーカス開催予定日

4/23 こだいらサーカス @ 学園坂商店街

5/29 こだいらサーカス @ 小平中央公園 (13時～18時)

尚、29日午前は国分寺朝市に出張公演

の保健室で寝ることもあったそうだ。

セールス、集金業務もこなし、学業との両立は厳しかったが、社会を知り、人を知る貴重な体験ができた。稚内の養護学校に行った教育実習は「大変おもしろかったですね。型破りな先生がいて、実習を終えた時、自分の革ジャンを僕にくれたんですよ。そう、コレコレ」と思い出したように、この日に着ていた赤い革ジャンの端を引っ張る。この養護学校には今も毎年パフォーマン스에訪れている。

家族がプロの道を支える

養護教諭の免許も取ったが、大学の授業で出合った表現講座で、自身で脚本を考え、身体表現することの面白さ、深さに惹かれていった。卒業後東京の日本マイム研究所の研修生として3年間修業。家賃2万7千円のアパートに住み、三鷹のスポーツジムでインストラクターをやりながら、今の基礎を築いた。

2003年1月1日、沖縄を皮切りに全国行脚のストリートパフォーマンスの旅に出た。片っ端から地方のFM局などにメールを送り営業した。この時の出会いが縁で、今も毎年招かれている所がある。47都道府県を制覇したが、この旅の途中、鹿児島で出会ったのが妻の藍さん。その時、高校を卒業したばかり。繁華街でパフォーマン

スを披露するジローさんを偶然見かけた。「夢を追いかけて生きている人があるんだ。なんて素晴らしい」と感動したという。

この日がきっかけとなり、遠距離恋愛の後、結婚。「本人は気付いていないけど、彼女は僕より笑いのセンスがすごい」と一目置く藍さんはソフトラニスの元国体選手。2男1女をもうけ、子育てと仕事の合間に最近ソフトテニスを再開した。「子どもの世話も家事もやってくれる、いいお父さんです。私がしっかり支えるから、好きな仕事を精一杯続けてほしい」と藍さん。

一方、長男の小学6年生、草志くんは小2の頃から夏休みになると、父の地方での仕事についていった。父のアシスタントをやりながら、仕事の楽しさ、厳しさを体感してきた。「お父さんはおもしろい。その場の空気をよんで笑いを取れる。自慢のお父さんです」。しっかり者の草志くんは今ではジローさんの片腕だ。門前の小僧で、中国ゴマを操り、エレキギターも弾ける。将来はミュージシャンになりたい夢がある。ジローさんの活躍もこの温かい家族の支えがあってこそのことだろう。

子どもたちに楽しさを 体験させたい

「未来を担う子どもたちに『愛・夢・

魂』を語るより感じさせたい」と熱い信念を持っているので、保育園や幼稚園、学校での公演活動に力を入れている。室蘭の聾学校で実施した時のこと。生徒たちがケラケラ笑っている様子を見た時「伝わっている」と感激したことがあった。

「子どもたちに非日常の楽しさがあることを体験してほしい。子どもは程度がいいし正直なので、おもしろければ反応するし、その逆もあります。子どもに受けなきゃめた方がいい。彼らにとつては小平がふるさと。この地で楽しい思い出を作ってやりたい」

下の子が通っている保育園では毎年パフォーマンスを披露している。市内の他の園でも体験してほしいと、申し出ているがなかなかOKをもらえない。ぜひジローさんの人柄と実力を見て、判断してほしいもの。毎年尾道で開催される「全国仮装大会」では昨年三連覇を達成。ニューヨークタイムズスクエアやウズベキスタンでもパフォーマンスを炸裂させた。岐路に立った時、いつも困難な道を選んできたジローさんに「ぶれない」ハートを感ずる。肉体表現の可能性をはげさせて、自身もそして見る人々もハッピーにしてほしい。4月は花の東北へ巡業に向かう。

TEL/FAX 042 (315) 7334

公演予定はブログ「ジロー今村」で検索